

実施年度	: 2024 (2025 入試) 年度
試験日	: 2024 年 11 月 10 日
入試種別	: 3 年次編転入学試験問題
学部・研究科	: 文学部 真宗学科
科目名	: 専門科目

【解答又は解答例】

1

①

『仏説無量寿経』(大経・大本)の第十八願に説かれる「至心・信楽・欲生」の三心のこと

②

『教行信証』化巻に示される親鸞独自の「浄土三部経」の捉え方のこと。

『観経』と『阿弥陀経』には、それぞれ釈尊が浄土への往生行として定善の十三観、散善の三福・九品の行と、一心不乱の念仏などの自力の教えを説くが(顕説)、各々の教えは、密意としては、弘願の真実へ誘引するための方便の教説であり、『観経』の釈尊微笑の素懐と『阿弥陀経』の無問自説の経意は『無量寿経』の第十八願の利他一心への通入のためであると理解した親鸞の考え(密意)。

2

① 善導大師 (ぜんどうだいし)

唐の高僧であり、浄土教を大成した人物として知られる。浄土真宗においては、第5祖に位置づけられる。当時の『観無量寿経』の解釈を否定して、『観無量寿経疏』を著し、凡夫が救われる道として「称名念仏」こそが正定業であると説いた。

② 二双四重判 (にそうしじゅうはん)

親鸞における教相判釈の一つで、仏教を大乘・小乗、頓教・漸教、難行・易行、聖道・浄土、権教・実教等と分類した従来の説をうけながら、豎とは聖道門の教え、横とは浄土門の教えを指す。また出・横は権・実教の違いを示している。豎超・横超、豎出・横出という二双四重の対立概念で区分する。豎とは聖道門の教え、横とは浄土門の教えを指す。また出・横は権・実教の違いを示している。本願他力の教えこそ、「横超の一乗真実の教」である旨を示されるのである。

③ 専修（せんじゅ）

その他の諸行（雑行）を捨てて、ひたすらに一つの行をおこなうこと。親鸞においては阿彌陀仏の名号を称えることを指し、これを専修念仏という。この専修念仏は、法然上人が提唱し、親鸞聖人が継承した浄土教の基本的な実践態度。

④ 覚如（かくによ）

親鸞聖人の曾孫で、本願寺第三代宗主とされる。親鸞聖人の廟堂を寺院化して「本願寺」の基盤を固めた人物であり、親鸞の伝記である『御伝鈔』などを著した。